

音声教材等の提供・使用申請について

1. 音声教材等とは

音声教材とは、発達障害等により教科書の文字等を読むことに困難がある児童生徒に向けて製作されている教材です。教科書の内容を音声で読み上げる等、様々な機能があります。学校の授業における利用や、家庭での予習・復習における利用が可能で、「読むこと」にかかる負担を軽減し、内容の理解に注力することができます。

また、拡大教科書と同様に使用できる教材として、視覚障害のある児童生徒に向けて、PDF版の拡大教科書が製作されています。文字の拡大機能や色の反転等の機能があり、読みやすい表示で教科書の内容を読むことができます。

この文書では、音声教材とPDF版の拡大教科書(PDF版拡大図書)を併せて、「音声教材等」とします。

参考資料に掲載されている教材は、文部科学省の事業により製作されているもので、対象となる児童生徒へ無償で提供しています。

2. 提供の対象となる方・教科書について

音声教材等の提供対象は、視覚障害や発達障害等により通常の検定教科書等では文字等を読むことが困難な児童生徒の学習用途に限定されます。

対象となる教科書は、当該児童生徒が学校の授業において使用している教科書です。

3. 申請について

(学校関係者・教育委員会の方へ)

音声教材等の使用を希望する児童生徒がいる場合、申請書・同意書を作成し、音声教材等の製作団体へ提供申請を行ってください。提出先、申請方法等は参考資料のとおりです。

また、保護者等から申請についての相談があった場合には、学校における児童生徒の学習の様子等を踏まえ、音声教材等の使用についてご検討いただくようお願いします。音声教材等の使用が適当と判断される場合には、保護者等と相談しつつ次ページ以降の申請書を作成し、学校・教育委員会等から申請を行っていただくようお願いします。

なお、音声教材等は文部科学省の委託事業により製作・提供しているため、音声教材等の使用に当たって、アンケートの回答等に御協力をお願いする場合があります。

(保護者の方へ)

お子さんが教科書を読むことに困難を抱えており、上述の提供対象に該当すると考えられ、音声教材等の使用を希望される場合、学校の先生等に申請について御相談ください。

学校からの申請が難しい場合には、家庭での予習・復習時に使用するために保護者から申請することも可能です。次ページ以降の申請書・同意書に必要事項を記入し、音声教材等の製作団体へ提供申請を行ってください。提出先、申請方法等は参考資料のとおりです。

なお、音声教材等は文部科学省の委託事業により製作・提供しているため、音声教材等の使用に当たって、アンケートの回答等に御協力をお願いする場合があります。

4. 資料一覧

(申請書類) ※申請の際は、②③④を提出してください。

- ① 01_鏡文
- ② 02_同意書(学校用)
- ③ 02_同意書(児童生徒用)
- ④ 03_利用者・教科書申請書
- ⑤ 04_教科書一覧
- ⑥ 05_認証コード確認方法

5. 音声教材等について

音声教材等の詳細については、下記ウェブサイト等をご確認ください。

(文部科学省ホームページ「音声教材」に関するページ)

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/1374019.htm



※左の QR コードからもアクセスできます。

(文部科学省ホームページ「PDF 版拡大教科書」に関するページ)

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/1411600.htm



※左の QR コードからもアクセスできます。

【本件担当】

文部科学省初等中等教育局教科書課
教科用特定図書普及促進係